

札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定に係る まち「つながる」ワークショップの開催結果について（概要）

1 実施概要

(1) 開催日程、参加者数

日程 / 時間	会場	参加者数
3月 3日（土）13：30～16：00	清田区民センター	19名
3月 4日（日）13：30～16：00	南区民センター	19名
3月 5日（月）18：30～21：00	厚別区民センター	23名
3月11日（日）13：30～16：00	豊平区民センター	17名
3月12日（月）18：30～21：00	中央区民センター	33名
3月18日（日）13：30～16：00	白石区民センター	24名
3月19日（月）18：30～21：00	西区民センター	21名
3月20日（祝）13：30～16：00	手稲区民センター	34名
3月21日（水）18：30～21：00	東区民センター	17名
3月22日（木）18：30～21：00	北区民センター	21名
	合計	228名

(2) ワークショップの進行

○前半（ワールドカフェ）

3～5人のテーブルごとに、メンバーをシャッフルしながら、問い（テーマ）に沿って自由に対話を行っていただいた。

○後半（テーマごとに分かれた話し合い）

前半の話し合いを踏まえて、参加者がさらに話し合いたい（深めたい）テーマをいくつか出し合い、テーマごとに分かれて話し合いを行っていただいた。

2 開催結果

(1) 前半のワールドカフェで出された主なアイデア・キーワード

<テーマ> まちや地域で、私たちはどうすればつながっていけるでしょうか？

分類	アイデア・キーワード
人のつながりに関すること	●声かけ ●あいさつ ●笑顔 ●郷土愛 ●問題意識の共有 ●グループワーク ●子育てへの高齢者の参加 ●プライバシーの保護 ●同世代交流 ●異世代交流 ●おせっかい ●趣味や研究での集まり ●高齢者の安否確認 ●除雪
町内会に関すること	●隣組 ●隣近所とのコミュニケーション ●元気な高齢者 ●老人クラブ ●伝言板 ●回覧板 ●町内会で犬を飼う ●コンビニやスーパーの利用 ●ボランティアチケット ●見守り隊 ●広報活動 ●高齢者お元気ですかチラシ ●井戸端会議
施設に関すること	●サロン ●コミュニティラジオの活用 ●危なくない広場 ●ゆっくりできる公園 ●喫茶店 ●買い物に歩いて行けるように休めるベンチ ●学校の活用 ●高齢者用住宅施設（看護師常駐） ●マンションに共同風呂 ●マンションの集会室の利用

行事に関する こと	●落語教室 ●花の教室 ●趣味講座の拡充 ●お誕生日会 ●お祭り ●町単位で行事を行う ●ＣＯ祭 ●もちつき ●七夕祭り ●花見 ●運動会 ●体育大会 ●ラジオ体操
地域に関する こと	●交通手段 ●顔の見える化 ●地域通貨 ●地域情報を伝える ●子 どもの時の地域での経験→地域のつながり ●民生委員の役割 ●災害 時の対処 ●ＮＰＯ等諸団体との連携 ●買い物ができる小さな商店 ●買い物難民の削減 ●高齢者モデル地域 ●自然を生かした取り組み
行政に関する こと	●相談場所の知識 ●学校評議員制度 ●札幌市都市計画の再考 ●建 ぺい率の見直し ●用途地域の見直し ●市議会議員を交えてのワール ドカフェ

(2) 後半で話し合われた主なテーマ・話し合われた内容

10会場で、合計49のテーマ（各区4～8のテーマ）が出されました。

テーマ	話し合われた内容
つながりを持 つには	●町内会回覧板 ●危機的状況にどう対応するか ●否定されない安心 感 ●世代別の課題 ●無理強いはダメ ●本人が必要とすることをき っかけに ●リピーターを増やす ●孤独死防止 ●ミクシィ等の SNS ●あいさつ ●イベント
地域みんなで 楽しい企画	●バーベキュー ●お茶会 ●パークゴルフ ●花壇 ●カラオケ ● 地域の人を講師にした講座 ●七夕祭り ●区民祭 ●大人のキャンプ ●コミュニティカフェ ●大学との連携 ●雪かき ●ＮＰＯの力をか りる
つながる場づ くり	●児童会館 ●福まちセンター ●廃校となる学校の利用 ●商店街の 空き店舗 ●気軽に立ち寄れるサロン
子どもを通し た地域づくり	●子育て世代におせっかいおばさん ●1人目のサポートが課題 ● 中・高生の居場所 ●世代・考え方を超えたかかわり ●人口減少の歯 止め ●広報活動の見直し ●事業所の保育施設のサポート
町内会の役割	●町内会費の徴収に配慮 ●人間関係 ●町内会の法人化 ●役員で意 思の統一 ●防犯
個人情報	●過度に意識・災害対策が進まない ●老人対応 ●虐待対応 ●表札 が無い
高齢者対策	●該当者の把握 ●民生委員との情報共有 ●見守り隊 ●個人情報 ●町内会で高齢者リスト作り ●市営の看護師常駐の施設
地域通貨	●地域通貨の利用方法について ●小さな地域から始める ●してほし いことを頼むときに地域通貨を使う ●得意分野の登録

(3) ワークショップでの話し合いの主なポイント

① つながるためのきっかけ、入口

・町内会活動などには参加したいと考えているが、そのための「きっかけ」や「入
口」が見当たらないことが課題

② 地域活動の意義、活動にあたっての障壁

・若い世代の参加者も町内会など地域活動の意義（重要性）を再認識
・高齢者の見守り活動などに付随する個人情報の問題、受け手側の意識（つな
がることを拒否する人…つながるためには「つながろう」とする意識が必要）

③ 多世代交流

・地域で暮らす様々な世代（赤ちゃん、子どもから若い世代、お年寄りまで）が
交流することが必要